

◆全国大学メンタルヘルス研究会

主 催…独立行政法人日本学生支援機構、全国大学メンタルヘルス研究会  
後 援…文部科学省  
当番大学…室蘭工業大学

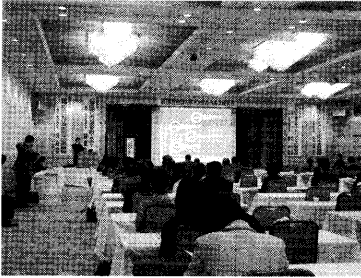
開催日時…平成一六年一月一八日(木)～一九日(金)  
会 場…ホテルサンルート室蘭  
参加者数…九五名

二六回目の開催となる今年度は「癒しのできるキャンパスと人材育成」というテーマが設定された。

二日間の日程は、一日目に一般口演、症例研究、特別研究班報告、研究班報告、パネルディスカッション「独法化と大学メンタルヘルスの動向」、北海道医療大学阿部和厚教授による特別講演「口琴は癒しの音楽を奏でるか?」が行われ、

二日目に一般口演、症例研究、東海学園大学渡辺久雄教授による教育講演「精神療法における「劇的な」治療機転」、シンポジウムが行われた。

また、二日間とも、活発な質疑応答が行われた。



1日目特別講演

◆平成一六年度第二回「全国就職指導ガイダンス」

主 催…文部科学省、就職問題懇談会、独立行政法人日本学生支援機構  
後 援…社団法人日本経済団体連合会  
協力大学…国立大学法人神戸大学

開催日時…平成一六年一月二五日(木)  
会 場…神戸ポートピアホール  
参加機関数…学校・学校関係団体 三三二校

企業・企業関係団体 一一二社  
参加者人数…学校・学校関係団体 四四三名

企業・企業関係団体 一五六名

学校側と企業側の新卒学生の就職に関わる情報交換を目的として平成一六年度第二回「全国就職指導ガイダンス」が神戸ポートピアホールで開催された。

冒頭、文部科学省の泉紳一郎大臣官房審議官、続いて本機構の北原保雄理事長より挨拶の後、就職問題懇談会の平野真一名古屋大学総長より「学生の就職・採用活動について」と題する講演、社団法人日本経済団体連合会の鈴木正人常務理事より「秩序ある就職採用活動の実践に向けて」と題する講演がそれぞれ行われた。事例紹介においては、松下電工株式会社の子山縣康浩人事部採用グループ主事より「過渡期を迎える学生の採用活動」と題する講演が行われ、続いて、広島大学の田中秀利キャリアセンター長より「キャリア思考」と「課題解決能力」―広島大学における進路・就職支援の考え方―

と題する講演が行われた。その後の情報交換会では、企業ごとに担当者が着座するブースを設置し、学校側の担当者が任意に訪問する形式で活発な情報交換が行われた。

◆学生ボランティア活動支援・促進のための連絡協議の集い

主催団体…独立行政法人 日本学生支援機構  
後 援…文部科学省

開催日時…平成一六年二月一七日(金)  
一〇:〇〇～一七:三〇

会 場…東京国際交流館 プラザ平成(台場)  
参加機関数…大学九六校、短期大学二〇校、高等専門学校四校、ボランティア団体七団体

参加者人数…一八一名

第一部全体会では、文部科学省生涯学習政策局社会教育課の野沢ボランティア活動推進専門官(当時)による講演「ボランティア活動の推進による地域教育力の再生」、シンポジウムでは「コミュニティと共に生きる大学―地域連携の可能性を探る―」をテーマに、



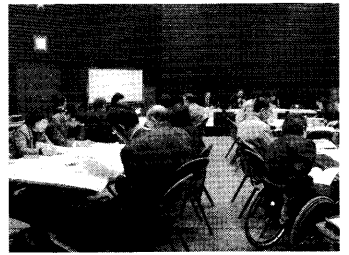
第一部の全体会を聴講する連絡協議の集い参加者

栗田亜細亜大学国際関係学部教授の総合司会で佐藤愛媛大学教育総合センター講師、阿部北海道医療大学心理科学部教授及び阪口龍谷大学短期大学部助教授の三名のシンポジストによる各大学の実践事例の紹介、質疑応答が行われた。

昼の時間帯には情報交換会(ランチセッション)として立食形式で軽食をとりながら参加者同士の名刺交換、情報・意見交換が活発に行われた。

第二部分科会では、①大学になぜボランティアセンターが必要なのか、②大学の授業におけるボランティア支援の可能性、③実践的ボランティアアコーディネーション術、④学生が結ぶボランティアネットワークキング、の各テーマごとにそれぞれ事例紹介や課題提供を行った後、六人程度の班に分かれてワークショップ形式による討議が行われ、結果が発表された。

学生のボランティア活動を支援・促進するという目的を同じくした参加者にとり、各地域で様々な方法、規模で活動・支援している事例、また、今後の活動・支援を検討する場合の課題、対応策等について貴重な情報を共有することができ、有意義な集いとなった。



第二部の分科会でディスカッションをする参加者